

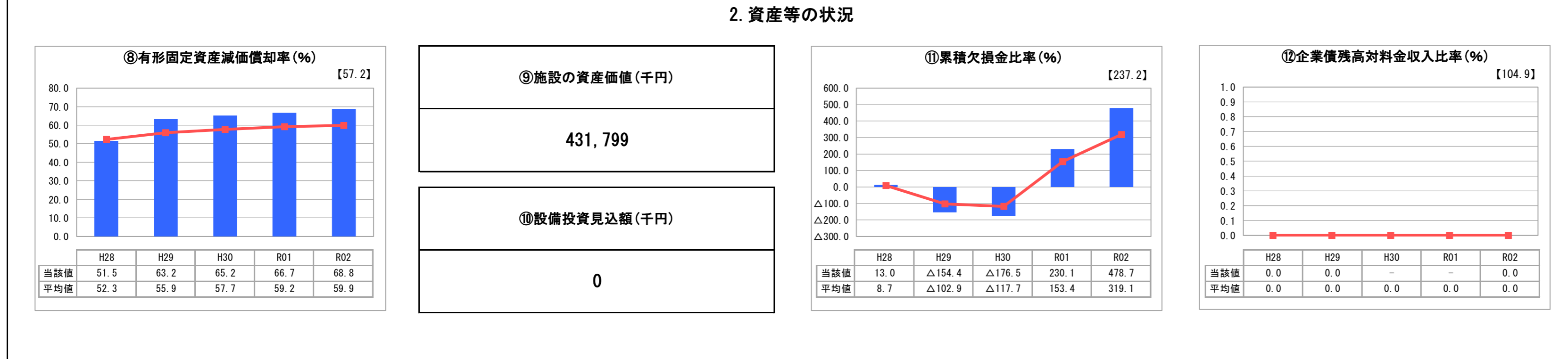
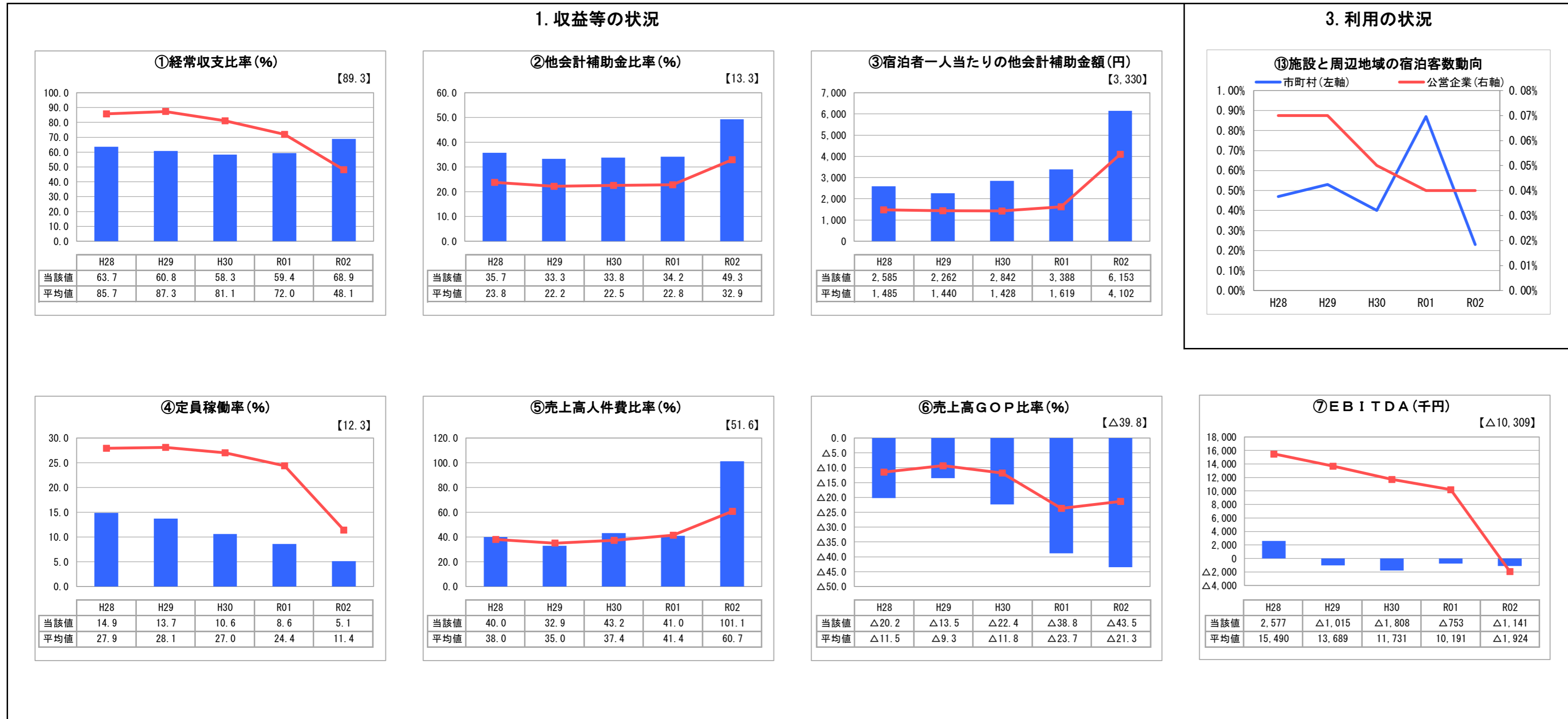
経営比較分析表（令和2年度決算）

兵庫県たつの市 赤とんぼ荘

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(m ²)	宿泊定員数(人)	
0.0	100.0	5,024	183	

客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
3,044	利用料金制	5.3
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
無	68.4	無

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について

① (経常収支比率) 経常収支比率が70%近くまで低下している。営業収益が大きく影響しているため、営業収益構造の検討が必要である。

② (他会計補助金比率) 類似施設平均値と比較して高い水準であり、前年度と比較しても大幅に高くなっている。他会計への依存による経営構造からの転換が必要である。

③ (宿泊者一人当たりの他会計補助金額) 類似施設平均値と比較して高い水準となっている。宿泊・休憩客の減少が大きな要因であるが、他会計への以前による経営構造からの転換が必要である。

④ (定員稼働率) 経年比較において漸次減少してきた。近年の宿泊・休憩ニーズへの対応の可否も含め、抜本的な検討が必要である。

⑤ (売上高人件費比率) 高い水準で推移してきた人件費比率であるが、本年度は著しく高い比率となっている。施設のあり方について抜本的な検討が必要である。

⑥ (売上高GOP比率) 売上高GOP比率がマイナス圏で推移している。営業収益が大きく影響しているため、本施設の収益構造の適正について検討が必要である。

⑦ (EBITDA) 経年比較において収益性の安定的な成長が見られない。施設のあり方についての検討を必要とする。

2. 資産等の状況について

⑧ (有形固定資産減価償却率) 類似施設平均値と比較して数値が高くなっており老朽化が進んでいる。施設のあり方について検討するうえで参考にしたい。

⑨ (施設の資産価値) 今後の施設のあり方を検討するうえで参考にしたい。

⑩ (累積欠損金比率) 増加する一方である累積欠損金について、解消に向けた抜本的な検討が必要である。

⑫ (企業債残高対料金収入比率) 企業債の数値計上はない。更新投資などを含め、今後の施設のあり方を検討するうえで参考にしたい。

3. 利用の状況について

⑬ (施設と周辺地域の宿泊客数動向) 新型コロナウイルス感染症の影響により、周辺地域の宿泊需要、本施設の利用人数とも大きく減少している。今後の施設のあり方を検討するうえで参考にしたい。

全体総括

指定管理者による運営を行ってきた本施設であるが、令和2年度末に指定管理期間が満了して以降、休憩・宿泊業務を休止している。今後、施設のあり方について抜本的な検討が必要である。